

日進西中学校 第一学年 数学科

# コロナウィルス臨時休校対策

## 中学校の数学 予習プリント

1年(    )組(    )番(    )

はじめに(必ず読んでください。)

このプリントは、



学校が再開したときに、みなさんが良いスタートをきれるといいな

と思い、1年数学科の先生で作成したプリントです。

2種類あります。

① これだけはやっておこう！基礎計算練習 1～14ページ

小学校の計算の復習プリントです。

分数の計算は、中学校でもたくさん行います。

今のうちに練習をしておいてください。

解答は後ろについています。すべて答え合わせをしましょう。

② 中学校の数学 予習プリント 1～8ページ

中学の数学の予習プリントです。

指定された教科書のページを開き、読みます。

教科書を見ながら、プリントの問題を解きましょう。

1ページ解いたら、後ろについている解答を見て答え合わせをしましょう。

**注意**

「中学校の数学 予習プリント」の内容は、  
学校が再開されたら必ず授業でもう1度学習します。  
そのため  
分からなかったところは空らのままでかまいません。  
授業と一緒に勉強しましょう(^^)

学習プリントの進め方

- ① 指定された教科書のページを開き、読みます。
- ② 教科書を見ながら、問題を解きます。  
間違えてもよいので、自分で考えて解いてみましょう。
- ③ 1ページ解いたら、解答を見て答え合わせをします。間違えていても消さずに赤で正しい答えを書くこと。

1節 正の数・負の数

1

教科書 12・13 ページ

左右両ページの中には、どんな数が使われていますか。

※色々な答え方ができる問題です。自分の考えを書いてみましょう。答え方是一通りではありません。

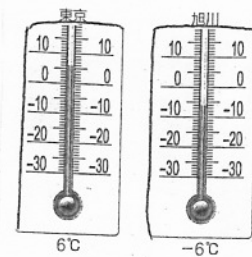
2

教科書 14 ページ ■ 0 より小さい数

① 「どんなことがわかるかな」を読みましよう。東京と旭川の気温はそれぞれ、どんな温度を示していますか。

・ 東京の温度は、

・ 旭川の温度は、



② 次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

旭川の気温「 $-6^{\circ}\text{C}$ 」は、□  $6^{\circ}\text{C}$ と読み、□  $^{\circ}\text{C}$ より  $6^{\circ}\text{C}$  □ 温度を示しています。

③ 次の(例)を読みましよう。

(例)  $0^{\circ}\text{C}$  より  $8^{\circ}\text{C}$  低い温度  $-8^{\circ}\text{C}$  (読み方 マイナス  $8^{\circ}\text{C}$ )

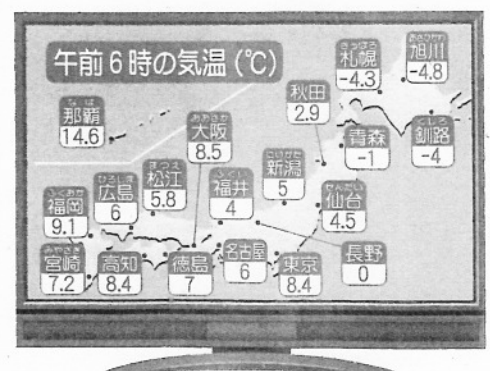
$0^{\circ}\text{C}$  より  $1.5^{\circ}\text{C}$  低い温度  $-1.5^{\circ}\text{C}$

④ 問1に取り組みましよう。

(1)

(2)

⑤ 問2に取り組みましよう。



① 15 ページの上を読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

- $-3, -3.5, -\frac{1}{2}$  のような 0 より小さい数を □ といいます。
- 負の数に対して、 $5, 0.5, \frac{3}{4}$  のような 0 より大きい数を □ といいます。
- 0 は □ です。
- 負の数は、「-」をつけて表します。正の数は、「+」をつけて表すことがあります。
- 例えば、2 を  $+2$  と表したときには、□ 2 と読みます。
- 「+」を □ , 「-」を □ といいます。

② 問3 に取り組みましょう。

- (1) (2) (3) (4)

③ 15 ページの間3 より下を読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

- 
- .....,  $-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3$ , .....
- 正の整数  $1, 2, 3, \dots$  を, □ ともいいます。
- 1, -2, ...も  
整数だよ
- 

④ よく間違えやすいところです。次のポイントを読んでおきましょう。

- ポイント**
- ① 整数とは、少数でも分数でもない数です。
- ② 「+」「-」がついていても、少数でも分数でもなければ整数です。
- ③ 0 は整数の仲間です。しかし、正の数ではないので、自然数ではありません。  
もちろん、負の数でもありません。

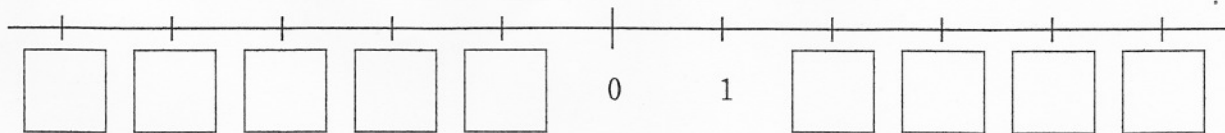
⑤ 問4 に取り組みましょう。

自然数...

整数 ...

4

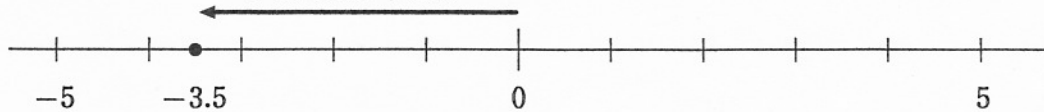
- ① 16 ページの上を読み、次の数直線のめもりに数字を書き足して、数直線を完成させましょう。

**ポイント**

0 を基準に考えましょう。

例えば、 $-3.5$  は、0 より 3.5 小さい数なので

0 より 3.5 小さい



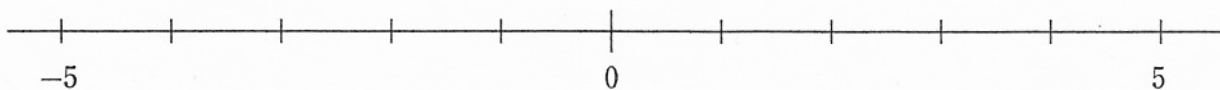
ここになります。

- ② **問5** に取り組みましょう。

A : \_\_\_\_\_ B : \_\_\_\_\_ C : \_\_\_\_\_

負の数は 0 より  
左にあるんだね

- ③ **問6** に取り組みましょう。



- ④ **練習問題** に取り組みましょう。

① (1) (2) (3) (4)

②

負の数 ...

自然数 ...

5

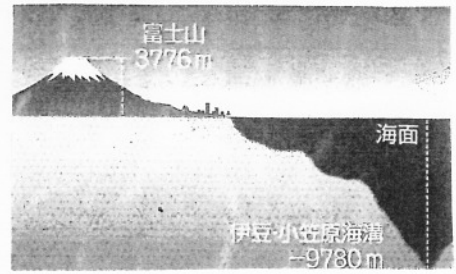
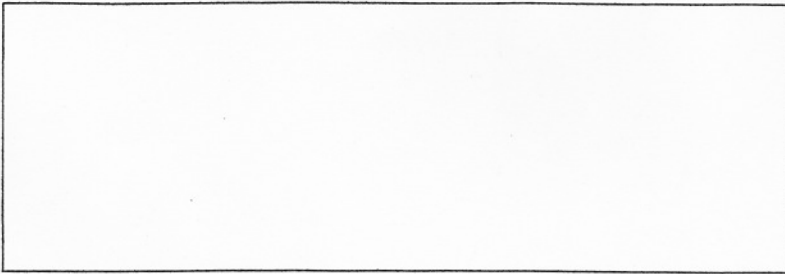
## チャレンジ問題

- ① 教科書 16 ページ **練習問題②** の数を、小さい順に並べましょう。

- ②  $-\frac{7}{2}$  と 4.3 の間にある整数は何個あるか、求めましょう。

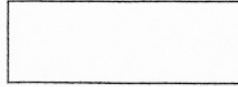
6 教科書 17 ページ ■ 正の数・負の数で量を表すこと

- ① 「どんなことがわかるかな」を読みましよう。「伊豆・小笠原海港  $-9780\text{ m}$ 」はどんなことを表していますか。

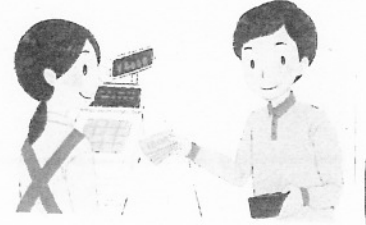


- ② 17 ページの上を読み、次の  にあてはまる語句を書きこみましょう。

山の高さや海の深さ、収入と支出のように、たがいに  
正の数、負の数を使って表すことができます。



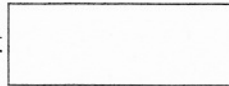
をもつと考えられる量は、



- ③ 例1を確認ましよう。

例1 収入と支出

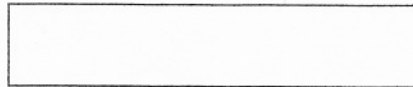
5000 円の収入を、 $+5000$  円で表すとき、4000 円の支出は



と表される。

- ④ 次の  にあてはまる語句を書きこみましょう。

3000 円の収入を、 $+3000$  円で表すとき、

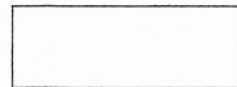


は  $-2500$  円と表される。

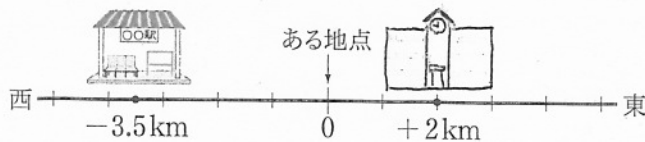
- ⑤ 例2を確認ましよう。

例2 東と西

ある地点から 2 km 東の地点を、 $+2\text{ km}$  と表すとき、ある地点から 3.5 km 西の地点は、

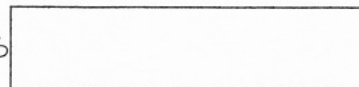


と表される。



- ⑥ 次の  にあてはまる語句を書きこみましょう。

ある地点から 4 km 北の地点を、 $+4\text{ km}$  と表すとき、ある地点から



は  $-5\text{ km}$  と表される。

- ⑦ 問1に取り組みましよう。(※ 損失…財産や利益などを失うこと)

どちらの量を  
正の数で表すか  
決めておく  
必要があるよ





① 18 ページ上を読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

ある量を考えるとき、基準を決めて、それからの増減や過不足などを、□, □で表すこともあります。

② 例3を確認しましょう。

例3 目標を基準にして

中山さんの目標点数 □ 点 この点数を基準として、16 得点すると □ 点  
7 得点すると □ 点

③ 次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

西中さんは、数学のテストで60 点をとることを目標にしている。

このとき、目標としていた得点との違いは、72 点とすると □ 点、43 点とすると □ 点と表される。

④ 問2に取り組みましょう。

| 曜日           | 月   | 火   | 水   | 木   | 金   |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 利用者数(人)      | 210 | 195 | 203 | 193 | 200 |
| 目標(200人)との違い | +10 | -5  |     |     |     |

私たちの身のまわりで負の数が使われているね



⑤ 18 ページ下を読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

反対の性質をもつ量は、例えば「多い」、「少ない」のように2つのことばを使って表しますが、

□を使うと、その一方のことばだけで表すことができます。

⑥ (例)のように、[ ]内のことばを使って、次のことを表しなさい。

(例1) 5個少ない[多い] ⇒ -5個多い

(例2) 3秒速い[遅い] ⇒ -3秒遅い

「-」を使えば、反対ことばを使っても同じ意味になるよ！

(1) 10円安い[高い] ⇒

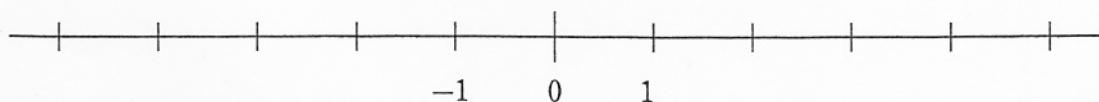
⑦ 問3に取り組みましょう。

(1) (2)

(3) (4)

① 「どんなことがわかるかな」を読みましょう。次の数を、下の数直線上に表しましょう。

+3, -3, -4, +4, -1.5, +1.5



数字の部分が同じ2数(+3と-3など)について、どんなことがいえるでしょう。

② 19 ページを読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

○ +3 に対して -3, -4 に対して +4 のように, +, - の符号をとりかえた数をつくることを,

といいます。

○ ある数と、その符号を変えた数とは、数直線上では、0 について反対側にあって、

が等しくなっています。

○ 数直線上で、0 からある数までの距離を、その数の

といいます。

○ 0 の絶対値は

です。

-3 と +3 の  
絶対値は  
等しいんだね



③ 例1を確認しましょう。

例1 絶対値

+3 の絶対値は

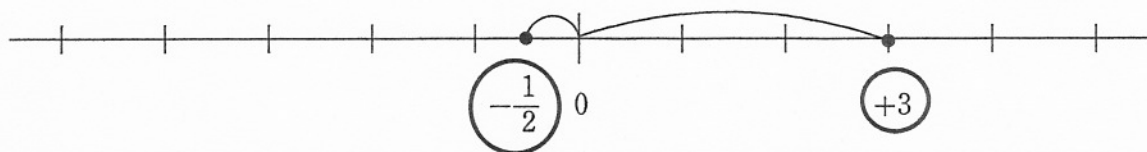
-4 の絶対値は

+1.5 の絶対値は

$-\frac{1}{2}$  の絶対値は

0 から  $-\frac{1}{2}$  までの距離は  $\frac{1}{2}$

0 から +3 までの距離は 3



④ 問1に取り組みましょう。

(1)

絶対値\_\_\_\_\_ 符号を変えた数\_\_\_\_\_

(2)

絶対値\_\_\_\_\_ 符号を変えた数\_\_\_\_\_

(3)

絶対値\_\_\_\_\_ 符号を変えた数\_\_\_\_\_

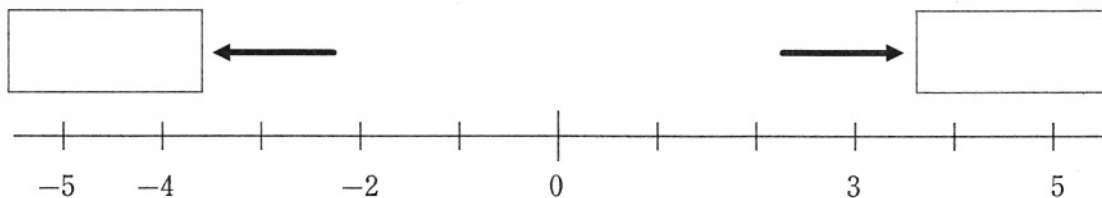
(4)

絶対値\_\_\_\_\_ 符号を変えた数\_\_\_\_\_



- ① 20 ページを読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

数を数直線上に表すと、右の方にある数ほど大きくなります。



- ② 問2に取り組みましょう。

- (1) 大きい数\_\_\_\_\_ 絶対値が大きい数\_\_\_\_\_ (2) 大きい数\_\_\_\_\_ 絶対値が大きい数\_\_\_\_\_

- ③ 20 ページを読み、数の大小についてまとめましょう。

| 数の大小                             |                |
|----------------------------------|----------------|
| ○ 正の数は、負の数より                     | □。             |
| ○ 正の数は0より                        | □, 絶対値が大きいほど□。 |
| (例) 2 と 4 大きい数は4, 絶対値が大きい数は4     |                |
| ○ 負の数は0より                        | □, 絶対値が大きいほど□。 |
| (例) -2 と -4 大きい数は-2, 絶対値が大きい数は-4 |                |

| 不等号を使った大小の表し方    |                            |
|------------------|----------------------------|
| -5 が 3 より小さいことを  | -5 □ 3 または 3 □ -5          |
| -2 が -3 より大きいことを | -2 □ -3 または -3 □ -2 と表します。 |

- ④ 問3に取り組みましょう。

- (1) 4 □ 5 (2) -3 □ -7 (3) -1.6 □ -0.6 (4)  $-\frac{3}{8}$  □  $-\frac{5}{8}$

迷ったら、数直線をかいてみよう!

- ⑤ 20 ページ下を読み、3 つの数の大小について考えましょう。

-4, 2, -2 の大小は, □ と表すことができます。

**ポイント** 数を小さい順に並べます。不等号の向きをそろえます。  $-4 < 2 > -2$  は×です。

(理由: この表し方だと-4と-2のどちらが大きいかわからないから。)

## 算数パズル

4月15日(水) 西中Web授業 より

※ このページは、時間のある人がチャレンジしてみましょう。

西中Web授業を見て1度メールで解答を送った人も、もう1度取り組んでみましょう

# 4合わせゲーム

## ルール

4を4つ使って、0～9までをつくりましょう。+ - × ÷ ( ) は使ってもOKです。  
また、44や444として使用してもよいです。

例  $(4 + 4 - 4) \div 4 = 1$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 0$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 1$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 2$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 3$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 4$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 5$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 6$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 7$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 8$$

$$4 \quad 4 \quad 4 \quad 4 = 9$$

## 応用問題

10、15、16、17、24、43、44もできるかな? 思いついたらかいてみよう!

- ① 指定された教科書のページを開き、読みます。
- ② 教科書を見ながら、問題を解きます。
- 間違えてもよいので、自分で考えて解いてみましょう。
- ③ 1ページ解いたら、解答を見て答え合わせをします。間違えていても消さずに赤で正しい答えを書くこと。

1 教科書 12・13 ページ

左右両ページの中には、どんな数が使われていますか。

※色々な答え方ができる問題です。自分の考えを書いてみましょう。答え方は一通りではありません。

(例) 整数・分数・小数・概数・一のついた数(負の数) など

$(\frac{1}{2})$   $(670.3)$   $94$

2 教科書 14 ページ ■ 0より小さい数

① 「どんなことがわかるかな」を読みましょう。東京と旭川の気温はそれぞれ、どんな温度を示していますか。

・ 東京の温度は、  $6^{\circ}\text{C}$ 、 $0^{\circ}\text{C}$ より $6^{\circ}\text{C}$ 高い温度

・ 旭川の温度は、  $-6^{\circ}\text{C}$ 、 $0^{\circ}\text{C}$ より $6^{\circ}\text{C}$ 低い温度

② 次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

旭川の気温「 $-6^{\circ}\text{C}$ 」は、マイナス  $6^{\circ}\text{C}$ と読み、0 より  $6^{\circ}\text{C}$  低い 温度を示しています。

③ 次の(例)を読みましょう。

(例)  $0^{\circ}\text{C}$ より $8^{\circ}\text{C}$ 低い温度  $-8^{\circ}\text{C}$  (読み方 マイナス  $8^{\circ}\text{C}$ )

$0^{\circ}\text{C}$ より $1.5^{\circ}\text{C}$ 低い温度  $-1.5^{\circ}\text{C}$

④ 問1に取り組みましょう。

(1)  $-3^{\circ}\text{C}$  (2)  $-2.5^{\circ}\text{C}$

⑤ 問2に取り組みましょう。

札幌  $-4.3^{\circ}\text{C}$  旭川  $-4.8^{\circ}\text{C}$  青森  $-1^{\circ}\text{C}$  釧路  $-4^{\circ}\text{C}$

4 教科書 16 ページ ■ 数直線 ( )組( )番 解答 ( )

① 16ページの上を読み、次の数直線のめもりに数字を書き足して、数直線を完成させましょう。

$-5$   $-4$   $-3$   $-2$   $-1$   $0$   $1$   $2$   $3$   $4$   $5$

ポイント 0を基準に考えましょう。

例えば、 $-3.5$ は、0より $3.5$ 小さい数なので、0より $3.5$ 小さいところになります。

② 問5に取り組みましょう。

A:  $-4$  B:  $-1.5(-\frac{3}{2})$  C:  $0.5(\frac{1}{2})$

③ 問6に取り組みましょう。

$-3$   $-2.5$   $0$   $2$   $4.5$

④ 練習問題に取り組みましょう。

① (1)  $+18$  (2)  $-36$  (3)  $+\frac{1}{3}$  (4)  $-0.8$

② 負の数 ...  $-3.2, -10, -\frac{5}{6}, -1, -0.1$  ( $-$ がついている数)

自然数 ...  $+9, 6$  (正の整数)

5 チャレンジ問題

① 教科書 16 ページ 練習問題②の数を、小さい順に並べましょう。

$-10, -3.2, -1, -\frac{5}{6}, -0.1, 0, 0.2, \frac{2}{3}, 6, +9$

②  $-\frac{7}{2}$ と $4.3$ の間にある整数は何個あるか、求めましょう。

$-\frac{7}{2} = -3.5$   $-\frac{5}{6} = -0.833...$   $\frac{2}{3} = 0.66...$

数直線で考えると

$-4$   $-3$   $-2$   $-1$   $0$   $1$   $2$   $3$   $4$

8個

3 教科書 15 ページ

① 15ページの上を読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

○  $-3, -3.5, -\frac{1}{2}$ のような0より小さい数を 負の数 といいます。

○ 負の数に対して、 $5, 0.5, \frac{3}{4}$ のような0より大きい数を 正の数 といいます。

○ 0は 正の数でも負の数でもない数 です。

○ 負の数は、「 $-$ 」をつけて表します。正の数は、「 $+$ 」をつけて表すことがあります。

例えば、2を $+2$ と表したときには、プラス 2と読みます。

○ 「 $+$ 」を 正の符号、「 $-$ 」を 負の符号 といいます。

② 問3に取り組みましょう。

(1)  $-12$  (2)  $+9$  (3)  $+1.5$  (4)  $-\frac{2}{3}$

③ 15ページの問3より下を読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

○ 整数

.....  $-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3$  .....

負の整数 正の整数(自然数 ともいいます)

○ 正の整数  $1, 2, 3, \dots$ を、自然数 ともいいます。

④ よく間違えやすいところです。次のポイントを読んでおきましょう。

ポイント ① 整数とは、少数でも分数でもない数です。

② 「 $+$ 」「 $-$ 」がついていても、少数でも分数でもなければ整数です。

③ 0は整数の仲間です。しかし、正の数ではないので、自然数ではありません。もちろん、負の数でもありません。

⑤ 問4に取り組みましょう。

自然数 ...  $4, +12$  (正の整数を選びましょう)

整数 ...  $-5, -6, 4, 0, +12$  (0も整数の仲間です)

6 教科書 17 ページ ■ 正の数・負の数で量を表すこと

① 「どんなことがわかるかな」を読みましょう。「伊豆・小笠原海溝  $-9780\text{ m}$ 」はどんなことを表していますか。

(例) 海面から海底までの深さが  $9780\text{ m}$

② 17ページの上を読み、次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

山の高さと海の深さ、収入と支出のように、たがいに 反対の性質 をもつと考えられる量は、正の数、負の数を使って表すことができます。

③ 例1を確認しましょう。

例1 収入と支出

5000円の収入を、 $+5000$ 円で表すとき、4000円の支出は  $-4000$ 円 と表される。

④ 次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

3000円の収入を、 $+3000$ 円で表すとき、2500円の支出 は $-2500$ 円と表される。

⑤ 例2を確認しましょう。

例2 東と西

ある地点から2km東の地点を、 $+2\text{ km}$ と表すとき、ある地点から3.5km西の地点は、 $-3.5\text{ km}$  と表される。

⑥ 次の□にあてはまる語句を書きこみましょう。

ある地点から4km北の地点を、 $+4\text{ km}$ と表すとき、ある地点から 5km南の地点 は $-5\text{ km}$ と表される。

⑦ 問1に取り組みましょう。(※ 損失...財産や利益などを失うこと)

$-500$ 円

① 「どんなことがわかるかな」を読みましょう。次の数を、下の数直線上に表しましょう。

(例) 0からの距離値が等しい  
符号(+,-)をとった. 同じ3

○  $+3$  に対して  $-3$ 、 $-4$  に対して  $+4$  のように、 $+$ 、 $-$  の符号をとりかえた数をつくることを、

○ ある数と、その符号を変えた数とは、数直線上では、0 について反対側にあつて、0 からの距離 が等しくなっています。

漢字注意 距  $\times$  居  $\rightarrow$  にしない 離  $\times$  立  $\rightarrow$  ます

○ 数直線上で、0 からある数までの距離を、その数の 絶対値 といいます。

○ 0 の絶対値は 0 です。

例1 > 絶対値

$+3$ の絶対値は  $3$      $-4$ の絶対値は  $4$      $+1.5$ の絶対値は  $1.5$      $-\frac{1}{2}$ の絶対値は  $\frac{1}{2}$

0 から  $-\frac{1}{2}$  までの距離は  $\frac{1}{2}$       0 から  $+3$  までの距離は 3

(1) 絶対値 5      符号を変えた数 +5      (2) 絶対値 8      符号を変えた数 -8

(3) 絶対値 3.5      符号を変えた数 +3.5      (4) 絶対値  $\frac{3}{4}$       符号を変えた数  $-\frac{3}{4}$

\*  $\frac{3}{4}$  は,  $+\frac{3}{4}$  のことです

数を数直線上に表すと、右の方にある数ほど大きくなります。

小さい ← → 大きい

3の絶対値 3    4の絶対値 4    ②    2の絶対値 2    5の絶対値 5

絶対値が大きい数  $-4$     大きい数  $-2$     絶対値が大きい数  $-5$

→ 大きい ←    ← 小さい →

1のついたてでまとめよう。

$-5$      $-4$      $-2$      $0$      $1$

数の大小

○ 正の数は、負の数より **大きい**。

○ 正の数は0より **大きく**、絶対値が大きいほど **大きい**。

(例) 2 と 4 大きい数は4、絶対値が大きい数は4

○ 負の数は0より **小さく**、絶対値が大きいほど **小さい**。

(例) -2 と -4 大きい数は-2、絶対値が大きい数は-4

$-5$  が  $3$  より小さいことを  $-5 \lt 3$  または  $3 \gt -5$   
 $-2$  が  $-3$  より大きいことを  $-2 \gt -3$  または  $-3 \lt -2$  と表します。

(1)  $4 \boxed{<} 5$  (2)  $-3 \boxed{>} -7$  (3)  $-1.6 \boxed{<} -0.6$  (4)  $-\frac{3}{8} \boxed{>} -\frac{5}{8}$

迷ったら、数直線をかいてみよう！

-4, 2, -2の大小は、 $-4 < -2 < 2$ と表すことができます

**ポイント** 数を小さい順に並べます。不等号の向きをそろえます。  $-4 < 2 > -2$  は×です。

(理由：この表し方だと  $-4$  と  $-2$  のどちらが大きいかわからないから。)

4を4つ使って、0~9までをつくりましょう。 $+$   $-$   $\times$   $\div$   $( )$ は使ってもOKです。  
また、44や444として使用してもよいです。

例  $(4 + 4 - 4) \div 4 = 1$

(例)

|                   |   |   |                          |   |   |   |                               |  |
|-------------------|---|---|--------------------------|---|---|---|-------------------------------|--|
| 4                 | 4 | - | 4                        | 4 | = | 0 | $4 \times 4 - 4 \times 4 = 0$ |  |
| (4 + 4) ÷ (4 + 4) | = | 1 | $4 - 4 + 4 - 4 = 0$      |   |   |   |                               |  |
| 4 ÷ 4 + 4 ÷ 4     | = | 2 | $44 \div 44 = 1$         |   |   |   |                               |  |
| (4 + 4 + 4) ÷ 4   | = | 3 | $(4 - 4) + 4 \div 4 = 1$ |   |   |   |                               |  |
| (4 - 4) × 4 + 4   | = | 4 |                          |   |   |   |                               |  |
| (4 × 4 + 4) ÷ 4   | = | 5 |                          |   |   |   |                               |  |
| (4 + 4) ÷ 4 + 4   | = | 6 |                          |   |   |   |                               |  |
| 4                 | 4 | ÷ | 4                        | - | 4 | = | 7                             |  |
| 4 + 4 + 4 - 4     | = | 8 |                          |   |   |   |                               |  |
| 4 + 4 + 4 ÷ 4     | = | 9 |                          |   |   |   |                               |  |

十一、×、÷が  
混じった式は、×  
先に計算します

十、一、 $\times$ 、 $\div$ が  
混じった式は、 $\times$ 、 $\div$ から  
先に計算しますね！

**應用問題**

10、15、16、17、24、43、44もできるかな？思いついたらかいてみよう！